



# 濱見が丘

令和7年10月1日(水)  
気仙沼市立気仙沼中学校  
学校だより  
発行 教頭 山田 正

夏休みが明け、早くも1ヶ月が過ぎました。9月は、防災交流会、学校市選挙、地区新人大会など様々な行事が行われました。お子さんはそれぞれの場面だけでなく、日々の学校生活全体においても真剣に取り組む姿を見られ、緊張と挑戦の中にも、仲間と支え合い、互いに励まし合う場面が多く見られ、お子さんの確かな成長を感じています。

今週から10月。旧暦でいう「神無月(かなづき)」を迎えます。この呼び名の由来には諸説ありますが、最もよく知られているのは、全国の神々が出雲大社に集まるため、各地で神様が不在になるという説です。そのため、出雲では逆に「神在月(かみありづき)」と呼ばれています。同じ出来事でも、立場や場所、視点を変えると全く違う見方ができる——これは、私たちの日常生活の中でもよくあることです。この「見方を変える」という考え方は、子どもたちの成長を支えるうえでも大切な視点です。お子さんには、良い面もあれば、気になる面もあるでしょう。しかし、見方を少し変えることで、お子さんの新たな可能性や成長の兆しが見えてくることがあります。

心理学には「リフレーミング」という用語があります。これは、物事の「枠組み(フレーム)」を意識的に変え、違った角度から見つめ直すことで、新しい意味や価値を見出すという考え方です。例えば、「落ち着きがない」という言葉は、見方を変えれば「行動力がある」「積極的である」とも言い換えられます。ネガティブに見える面の中にも、その子らしさや強みが隠れていることは少なくありません。有名な例として、「コップの水が半分しかない」と捉えるか、「まだ半分もある」と考えるかで、感じ方が変わる「コップ半分の水」の話があります。見方を変えるだけで、前向きな気持ちになれることがあります。

学校でも、子どもたち一人一人の多様な側面に丁寧に目を向け、良いところを伸ばし、励ましながら、自己肯定感を高めていけるよう支援して参ります。御家庭でも、日々のお子さんの様子の中にある小さな成長や努力をぜひ見つけていただき、まずは「よく頑張っているね」「その姿、いいね」などと声を掛けてください。その一言が、お子さんにとって大きな励ましとなり、次の挑戦への原動力となります。

これからも、御家庭と学校が手を取り合い、温かくお子さんたちを見守り、育んでいけるよう、本校の教育活動に御理解と御協力をよろしく願いいたします。

## 防災交流会から

9月11日(木)、東北被災地ボランティアツアーの一環として、法政大学ボランティアセンターに所属する学生約30名が来校し、2・3年生を対象に防災交流会を実施しました。

交流会では、阪神・淡路大震災で災害対応にあたった神戸市職員へのインタビューをもとに作成された、カードゲーム形式の防災教材「クロスロード」を活用し、防災について学びを深めました。また、防災グッズを活用したりレーを通して、楽しみながら災害への備えの大切さを考える機会となりました。また、防災に関する学習だけでなく、各クラスに分かれて、大学生によるプレゼンテーション（「大学生生活とは」「何にでも挑戦することの大切さ」「勉強方法の工夫」など）の発表を聞きました。大学生の実体験に基づく発表は、生徒にとって今後の進路や学習への意欲を高める貴重な機会となりました。そして一人一人が将来の自分を思い描き、身近な目標から将来の夢までを考える「ドリームビンゴ」にも取り組みました。この活動を通して、目標をもって行動することの大切さを学び、自分の将来を具体的にイメージするよいきっかけとなりました。



## 学校市選挙から

9月18日（木）、学校市選挙が行われました。今回の学校市選挙は、市長1名・副市長1名が立候補したため、信任投票となりました。

市長候補者の2年・組・・・さんは、副市長としての経験を生かし、「一人一人の個性が輝く学校市」を目指して市長に立候補しました。公約は「学年を超えた交流の推進」「委員会活動の見える化」「意見箱の活性化」の3つ。全校生徒と協力し、より良い学校づくりに取り組む決意を語りました。

副市長候補者の1年・組・・・さんは、「学校の役に立ちたい」「活気ある学校にしたい」との思いから副市長に立候補しました。公約は「学校市活動の明確化」と「意見が反映される活動の推進」。明るく誰とでも話せる性格を生かし、全校生徒が意見を出し合える学校づくりを目指すと言いました。



投票の結果、新市長に菊田さん、副市長に畠山さんが信任されました。今後、その他の役員選出を行い、2学期から新執行部としての活動が始まります。今後の活気ある学校市活動に期待しています。

## P T A活動の表彰

9月14日（日）、本校PTAのこれまでの活動が評価され、第57回日本PTA東北ブロック研究大会仙台大会の全体会において、東北ブロックPTA協議会会長表彰を受けました。これまでのPTA活動に対して高い評価をいただいたのは、保護者の皆様の御理解と御協力のたまものです。心より感謝申し上げます。今後とも、できる範囲で構いませんので、PTA活動への御理解と御協力をお願いいたします。

